

みずほCustomer Desk Report 2018/02/13 号(As of 2018/02/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.88
TKY 9:00AM	108.56	1.2260	133.08	1.3936	0.7784
SYD-NY High	109.32	1.2287	134.16	1.3987	0.7830
SYD-NY Low	108.05	1.2206	131.99	1.3764	0.7759
NY 5:00 PM	108.80	1.2253	133.33	1.3826	0.7815
NY DOW	24,190.90	330.44	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,874.49	97.33	日本10年債	0.0700	▲1.00bp
S&P	2,619.55	38.55	米国2年債	2.0712	▲3.63bp
日経平均	21,382.62	▲508.24	米国5年債	2.5425	▲0.15bp
TOPIX	1,731.97	▲33.72	米国10年債	2.8557	2.90bp
シカゴ日経先物	21,295	105	独10年債	0.7435	▲1.60bp
ロンドンFT	7,092.43	▲78.26	英10年債	1.5710	▲4.60bp
DAX	12,107.48	▲152.81	豪10年債	2.8375	▲0.50bp
ハンセン指数	29,507.42	▲943.85	USDJPY 1M Vol	10.20	0.35%
上海総合	3,129.851	▲132.20	USDJPY 3M Vol	9.83	0.38%
NY金	1,315.70	▲3.30	USDJPY 6M Vol	9.65	0.38%
WTI	59.20	▲1.95	USDJPY 1M 25RR	-2.28	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	10.86	0.51%
ドルインデックス	90.44	0.21	EURJPY 6M Vol	10.64	0.55%

東京

東京時間のドル円は108.56レベルでオープン。前日海外時間の株安の流れを引き継ぎ、日経平均株価は安寄り後に一時前日比▲700円超まで下落する展開。こうした動きを横目にドル円は一時108.55をつくれるも、その後は日経平均株価が下げ幅を縮小する動きに、ドル円も109円近辺まで反発した。その後、中国1月CPI(前年比)が発表されるも、市場予想通りの結果(実績:1.5%、予想:1.5%)にマーケットの反応は限定的。さらにジョージ・カンザシ連銀総裁(投票権無し)より「緩やかな利上げの継続が重要」などのコメントが伝わるも、市場に与えた影響は限られたものとなった。午後に入り、ドル円は一時東京時間高値となる109.09まで上昇する場面が見られたものの、「米政府の予算が失効し、政府機関の一部が再開される」とのヘッドラインが報じられたことを受け、ドル円は再び108円台後半まで押し戻された。引けにかけて上海株が前日6%超の下落となるなど、アジア株が軒並み下落する展開にドル円は上値重く推移し、108.96レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

ロンドン

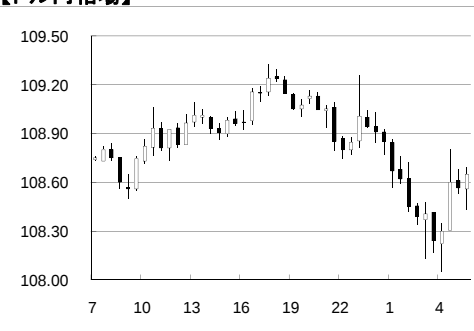
ロンドン市場のドル円は108.96レベルでオープン。ポジション調整で109.32まで買われる場面が見られるも、欧州株が本日でも下落したことからドル円の買戻しは限定的となった。108.80レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.3950レベルでオープン。英12月貿易収支は135.76億ポンドの赤字(予想:115.5億ポンドの赤字、前回:124.56億ポンドの赤字)と4か月連続で赤字幅が拡大していたことや英12月鉱工業生産指数が前月比-1.3%(予想:-0.9%、前回:0.3%)と悪化していたこと、またバルネEU交渉官が「英国との間で意見の相違がある。不一致が続けば離脱後の移行期間は設定されない」と述べたため、英離脱交渉への不透明感が強まったことなどをを受けて、ポンドは1月半ば以来の安値1.3791を付けた。1.3814レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)

ニューヨーク

NY時間のドル円は108.80レベルでオープン。朝方は黒田氏が日銀総裁に再任される方針との観測記事を受け、緩和姿勢が継続されるとの見方に円売りが強まり109.26まで上昇。しかし、米格付会社が債務拡大を受け、米国に長期的な格下げ圧力が掛かっているとの見方を示したこと等から、寄り付き後340ドル超まで上昇した株式市場がマイナス圏へ下落する展開に円買いが強まり、108.57まで下落した。高いボラティリティが新しいトレンドとの話が聞かれる中、午後に入ると軟調なダウが一段と下げ幅を拡大させ、500ドル安まで下落する展開に一段と円買いが強まり、ドル円は1月26日に付けた安値108.28を抜け、108.05まで下落した。しかし、売り一巡後は週末前ということもあり、株式市場で買戻しが強まったことから円が売り戻され、ドル円は108.86まで戻して108.80レベルでクロスした。一方、ユーロドルは一時1.2287まで上昇するが、その後は反落して1.2248レベルでNYオープン。朝方は再び1.2280まで戻す局面があったものの、株式市場が大幅安で推移する展開に1.2206まで反落。しかし、1.2200がサポートとして意識される中、週末を控えて株式市場でショートカバーが強まり、ユーロドルも徐々に買い戻されて1.2253レベルでクロスした。(NY15:00)

担当:西谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-

【ドル円相場】



【ユーロ円相場】

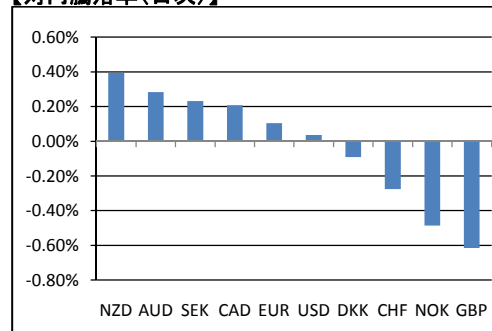


【ポンド相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】

